

平成26年度 部局長マネジメント方針

にしむら ひろゆき
消防局総務部長 西村 博之



仕事に対する基本姿勢

東日本大震災から3年が経ち、また、近い将来、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されております。

このような状況の中、防災活動拠点である消防署所の耐震化、地域防災力の中核である消防団の強化が重要となっております。

しかし、消防力の基本は、常備消防の職員の能力にかかっています。複雑多様化する災害に的確に対処できる職員を育成し、消防施設の充実もあわせより強固な消防組織体制を構築する必要があります。

したがって、消防局では、次の項目を重点課題として取り組み、消防団とともに「安全安心なまちづくり」を推進し、「市民生活の安全確保」に努めてまいります。

平成26年度に取り組む重点課題

1 西消防署の建替え

西消防署にあっては、昭和38年の建築物で老朽化が著しく進んでおり、南海トラフ巨大地震等に備え、防災活動拠点としての機能を確保するため、平成25年度に実施した設計に基づき、建設工事を開始します。

【庁舎の概要】

- ・ RC造地上3階建 延床面積 2,625㎡
- ・ ライフラインが途絶えても3日間は機能低下をきたさないよう自家発電設備、太陽光発電設備、自家給油設備、耐震性防火水槽等を整備します。
- ・ 平常時には、地域防災教育（救命講習など各種講習等）が実施できる機能を持ち、大規模災害時には活動隊の編成や指揮、関係機関との連絡調整を行うためのスペースを確保いたします。

2 出張所の耐震化

耐震性を有していない中新開出張所、若江出張所及び足代出張所については、平成27年度末までの耐震化に向け、耐震改修に係る設計業務を実施します。

3 消防団の強化

- ・ 地域防災力として重要な役割を果たす消防団の活動拠点である消防団屯所を、地元の協力を得て建替えていきます。
- ・ 消防団員の現場活動時における安全確保及び連携を強化し、効率的な現場活動を行うため、消防団車両に消防救急デジタル無線受令機及び簡易デジタル無線機を整備します。

4 人材育成の推進

近年の大量退職に伴う新規採用職員の増加により、職員の若年化が進んでいます。厳正な服務規律を確保し、東大阪市を愛する心を育て幅広い視野と専門的知識を身に付けさせるとともに、経験豊かな職員が持つ実践的技術を若い職員に伝承し、予防行政や複雑多様化する災害に対応できる人材を育成します。